

平成30年度 課題事後評価 対象課題一覧

研究代表者	代表機関名 (役職)	研究開発課題名
藤井 知行	東京大学 (教授)	母子感染に対する母子保健体制構築と医療開発技術のための研究
齋藤 滋	富山大学 (教授)	不育症の原因解明、予防治療に関する研究
苛原 稔	徳島大学 (教授)	生殖補助医療の技術の標準化と出生児の安全性に関する研究
大須賀 穣	東京大学 (教授)	卵子の老化および生殖細胞、卵巣の凍結保存に関する研究
久保田 俊郎	東京医科歯科大学 (非常勤講師)	高齢不妊克服のための卵子・卵巣機能改善法
奥山 虎之	国立成育医療研究センター (部長)	先進的治療法が確立した新たな成育疾患のスクリーニング法の開発とその適応基準の作成に関する研究
新宅 治夫	大阪市立大学 (教授)	脳性麻痺に対する臍帯由来間葉系細胞治療に関する研究
菅原 準一	東北大学 (教授)	環境・遺伝相互作用に基づく妊娠高血圧症候群の病態解明、早期診断法の開発
小林 弘典	島根大学 (助教)	タンデムマス・スクリーニングへのオルニチントランスカルバミラーゼ欠損症の追加、およびムコ多糖症の新規スクリーニング法の開発および適応に関する研究
平原 史樹 (倉澤 健太郎)	国立病院機構横浜医療センター (院長) (横浜市立大学産婦人科・講師)	本邦の先天異常発生状況の推移とその影響要因に関する研究
池田 智明	三重大学 (教授)	妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の克服を目的とした、ホスホジエステラーゼ5阻害剤タダラフィルによる新規予防法と治療法の開発